



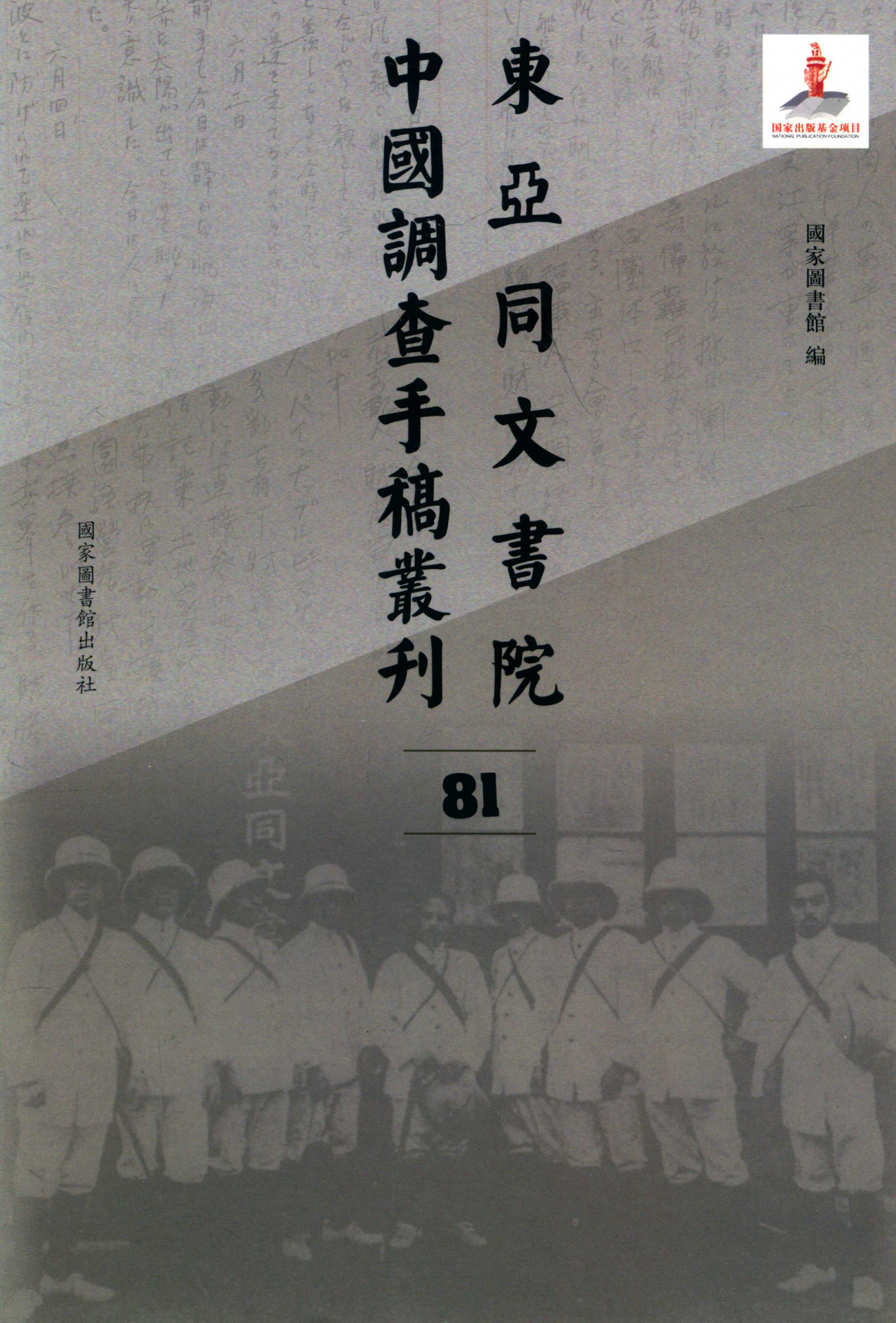
國家圖書館 編

東亞同文書院

中國調查手稿叢刊

81

國家圖書館出版社





國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

81

國家圖書館出版社

第八一冊目錄

昭和二年（一九二七）調查報告（第二十四期生）

山東の勞働者

山東的勞働者

有吉正義

第五卷第一編

.....一

山東省ニ於ケル石炭

山東省的煤炭

坪根一雄

第五卷第二編

.....一六九

山東省ノ落花生及同油

山東省的落花生及花生油

齊藤久永

第五卷第三編

.....三六三

我借款鐵路タル所ノ膠濟鐵路問題

我國借款鐵路中の膠濟鐵路問題

高次友惠

第五卷第四編

.....四九三

昭和二年度調査報告

山東の労働者

江北魯燕調査班

第四期生 有吉正義

凡例

此は昨夏院命を承けし山東直隸地方を遊
し、その調査報告である。

労働者。調査といふことも、種類が非常に
多く、範囲が亦廣くからこれを、出稼労働者、鉱山
労働者、紡績労働者に限る事にした。二日は実
際自ら視て、自ら調査する機会が得られぬ範囲
内であるからである。

三、近時世の視目を集めてゐる現象山東の苦力の
出稼の著しき増加は私が最も興味を拂つて調査
したもので、その統計は殊に注意して行ふものを集
めたが、尚事情止むを得ず旧いものを用いたものも
あるが、これは諒として戴きたい。

四、銚子の労働者調査は、自ら旅行した博多、福岡、
西地に限つた。ニホもこの年の自分の調査の調査
報告をらしめんとする。心づかりからである。

五、紡績労働者調査は既に済し盡されたる
筈であるから、要らざる事になり、筆を起した。

六、支那の労働運動の解説と主題、序説
とニホを載せた。

七、旅行中張宗昌軍を初め北軍の旗色悪
く、山東省は危険に類し、従つて旅行も思ひこた
半分も出来ず、調査にも遺憾のよすがが多い事
は残念ではらぬ。

八、終りにこの調査に當り色々努力を賜つた
菅波工人を初め先輩諸氏の深々感謝する。

尚参考書籍を挙げておし。

現代支那社会研究

伊藤武夫

支那の労働者及労働運動

長野 朗

支那の労働運動

東亞経済調査会

支那労働問題

宇高 亨

近代人口通論

黎世 衡

社会学概論

高田 保 馬

調査資料

軍政府(山東軍)

雑誌 支那

青島商業会経済週報

青島高工案内

其他各地領事館 会誌等で発行する。

パンフレット 数種

以止。

一九二八年一月一日

徐家匯馬路

才三十四期在 有吉 正義

第一編 山東の労働者調査報告目録

第一章 序説

第二章 出稼労働者の調査

第一节 山東の苦力

第二节 労働者の移動

第一节 概説

第二节 満蒙への出稼

第一項 出稼現況

第二項 出稼者出身地につき

第三項 出稼期及苦力輸送

第四項 出稼地に於ける状況

第三节 欧州への出稼

第四节 出稼の原因

一頁

二五頁

二五頁

三一頁

三一頁

三七頁

三七頁

六七頁

七一頁

七三頁

七七頁

七九頁

第一項 經濟的根柢的原因

七九頁

第二項 因襲的根柢的原因

八二頁

第三項 突發的原因

八五頁

第四項 其他的原因

九一頁

第三章 結論

九二頁

第三章

鉦山労働者調査

一〇三頁

第一章

博山に於ける鉦山労働者一〇四頁

第一章 概説

一〇四頁

第二章

労働者種類、数、及出賃地 一〇五頁

第三章

労働者の移動及勤続数 一一二頁

第四章

就業状況及能率 一二五頁

第五章

労働者賃銀 一二八頁

第六章

優遇 一三四頁

第七款

労働団体の組織

一三五頁

第八款

衛生状態生活状態

及生活必需品の供給

一二七頁

第九款

総論

一三九頁

第二章

淄川に於ける労働者

一三〇頁

第四章

青島に於ける紡績労働者の調査

一四〇頁

附 青島天津一帯労働者の賃金

一五五頁

一五七頁

以上

第五卷
江北魯燕調查

第一章 序説

支那に於ける労働運動はその歴史甚だ若い
ものがあるが、短い期間の間は、幾多の事変を
経験し最近では支那のソレタリヤは人民革命
運動の中心となつた。一体现在の支那には一方
に封建、軍閥より自由民主主義の支那に移
らんとし、打倒軍閥の運動が盛んである。又一方
諸外口の圧迫制手肘より脱れんとする国家解放の
運動があり、この二つの運動は人民運動として
支那全般に普遍である。これに、最近社会主
義の理論に基いた社会革命の思想が漸く一
部へ浸潤し来つた爲支那のすべての運動は二
三つの潮流の影響を受けてゐる。免れ得ぬ勢力

動運動も亦その一つである。

労働運動でも是れが外に工場に起つたものは
はた對外運動の色彩は甚だ濃厚である。是れは
罷業當り者は罷業の効果を大にする爲めに、
之を國民の對外感情に訴へて、罷業の拡大を計
る爲に罷業範圍を大にし、且復権と爲つて来る。又時
には別の意味で罷業するに及ぶ。軍閥を困らす爲
に對外問題の爲に罷業するか如きものがある。外に工場
の罷業には色々復権のものが含まれてゐる。例へば又資本
主義といふ、又帝國主義運動の一部分といふ、國民の
間にある利権回收熱及排日とか排英感情等がある。
又や、商人の同業的競争の立場から援助しな人外人
資本家相互間の利害關係の衝突又日中では

労働者の賃金増加、待遇改善等の位置向上の
 ための純労働運動等々の関係がある。四能書
 の実動体は職工であつても其の背後には共産党
 あり、学生あり、実業団体あり、民衆あり、時には外
 人の煽動者までが控へある。しかも尚共産系の方
 針方針は後述するが、内には封建軍閥の打破、
 外には反帝主義の居られ労働大衆を利用せんと
 するものが封建打倒の居られ四能書を利用して未
 だ民力が餘りに強い為、この方面では人民會議を主
 唱して労働者及農民等を政治に参加させる運
 動を進めようとする。従つて労働者の四能書を以てする
 直接の参加は主として對外運動に白けられてゐる。
 まゝ、外口の場々の労働運動はさういふものが内訌に